

イエスのカリタス友の会だより

46号 2025.7.1.発行

宮崎カリタス友の会だより

第1号
2001.9.1発行

ごあいさつ

宮崎カリタス友の会会員の皆様

厳しい暑さが続いておりますが、皆様におかれましてはお健やかに過ごしのことを祈ります。

“教育は社会を変えていく重要な道具”であることを信じて、フィリピンでの教育事業に取り組んでおります。開校以来、教育する側が被教育者である子供たちから多くのことを学ばせていただいたという思いです。特に海外での活動では、何よりも言語の問題が先行します。英語とタガログ語を交えながら行う 現地の子供たちとのコミュニケーションに伴う難題は、凡人の想像に及ばぬところです。現在5名の日本人シスターが宣教活動に励んでおります。皆様のお祈りと善意に支えられて。限りなく輝く子供たちの笑顔に元気付けられて。そして、愛深い神様に希望を置いて。

この度は、私共のボランティアグループの呼びかけに寛大にお応えください。衷心より御礼申し上げます。よりよい世界の未来のためにフィリピンで教育の機会を提供する。その大切な一端を担う機会を与えてくださ

2



3



4



5



6



TOPICS

フィリピン

カリタス・ドンボスコスクール創立 30 周年

報告と支援申請

ボリビア・ペルー・ブラジル・南スーダン・ベトナム

写真 1.友の会だより第 1 号 2001 年

写真 2.友の会バザー協力者 2025 年

写真 3.小学生 2025 年 写真 4.高校生 2025 年

写真 5.フィリピン学校建設予定荒地 1992 年

写真 6.フィリピン学校校舎の一部 2025 年

中央写真.フィリピン共同体メンバー 2025 年

小さな愛を広げようー希望と驚きをもってー

イエスのカリタス友の会の会員および支援者の皆さま、暑さ厳しい夏を迎え、いかがお過ごしでしょうか。

2025 年も半年以上が過ぎ、新たに支援してくださる方々が加わり、また継続して私たちの活動にご理解と温かいご支援をくださっていることに、心より感謝申し上げます。

カリタス・ドンボスコスクール 30 周年・カリタス友の会 25 周年

今年はカリタス友の会が設立 25 周年を迎える記念すべき年です。友の会は、フィリピンに建設されたカリタス・ドンボスコスクールの教育を経済的に支える目的で設立されました。そのカリタス・ドンボスコスクールも、昨年度創立 30 周年を祝いました。

今号では、このカリタス・ドンボスコスクールからの記事を集めて特集として取り上げています。この教育事業は、私たちの小ささ、貧しさゆえに神様が示してくださった愛の証しであり、多くの方々の助けを受け、共に歩んできた証しだと思います。友の会の支援が結んだ実と言えるでしょう。

現在、学校共同体は「Pay Forward（恩送りー受けた恵みを別の人に送る）」の精神で愛に根差した奉仕を行い、青少年の喜びと希望の拠り所となっています。また、卒業生はサーバントリーダーとして国内外で活躍しています。現地からの報告をどうぞご覧ください。

イエスと共に歩む「巡礼」は日常の中に

さて、「希望の巡礼者」としての歩みはいかがでしょうか。

「巡礼」から思い出すカードがあります。スペインのサント・ドミンゴ・デ・シロス修道院（ベネディクト会）にあるレリーフの一部の写真を印刷した「エマオへの道」のカードです。（ページ下部参照）その説明のメモ書きを少し共有させていただきます。

旧約聖書をしっかりと抱える弟子のひとりには悲しげに見えますが、もうひとりの弟子の顔には、見知らぬ旅人の話を聞く中で**希望と驚き**が表れています。この二人の異なる態度は、私たちが神のみ心を熱心に求めるとき、私たち自身の内側に見出すことができるように思います。自身の信念に固執する態度と、起こった出来事を受け入れる開かれた態度。どのような状況であっても、イエスは常に私たちと共に歩み、私たちを彼自身と父のもとへと導いてくださいます。さらに、旅の仲間であるイエスの足元に注目すると、片方の足は二人の弟子の足と同じ方向を向いており、「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」（マタイ 28:20）というイエスの約束を思い出させます。イエスのもう片方の足は異なる方向を向いています。それは新しい道、すなわち**復活されたイエスこそが道であり、真理であり、命である**ことを示しているのです。私たちは、このように共に歩み、方向を示してくださるイエスを意識することで、希望と驚きをもって新たな生き方、すなわち**他者のための生き方**を開いていけるのだと思います。

巡礼中には多くの人と出会います。声を掛け合い、祈り合い、笑顔で挨拶し、疲れた時は助け合い、食べ物を分



かち合い、様々な話を通して出会いを深めていきます。また、目の前の兄弟姉妹、そして遠くにいる会ったこともない兄弟姉妹の情報を知り、気遣い、祈り、ケアしていくことは、私たちに新たな気づきと共に、喜びやワクワク感、痛みと共感、行動を起こす力を与えてくれるのではないのでしょうか。私たちが希望の光である神へと向かって、イエスと共に、お互いに真の旅の仲間となって希望と驚きをもって歩んでいけますように。

皆さまの寛大なご支援とご理解、励ましとお祈りに心からの感謝をこめて、神様の祝福をお祈り申し上げます。

どうぞお身体を大切にされ、猛暑を乗り越えられますように。

イエスのカリタス友の会 コーディネーター シスター浜崎昌子

フィリピン

カリタス・ドンボスコスクール 30 年の軌跡、奇跡！



サンタローザ

昨年 2024 年の春、再びフィリピンのカリタス・ドンボスコスクールで働く辞令を受け、来比しました。20 年ぶりの学校はもちろん懐かしさがありましたが、年齢を重ねながら多くの記憶も飛んでしまっていて、「帰って来た！」というよりも、新しいところに来たような、浦島太郎のような心地がし、更に容赦なく昼夜続く酷暑に面食らって、やっていけるのだろうかという不安の方が大きかったのが正直なところでした。

そんな私を勇気づけてくれたのは素晴らしい生徒達です。見るだけで癒される愛らしい幼稚園生、授業中でもガラス越しに手を振ってくれるフレンドリーな小学生、親切で礼儀正しくいかにも賢そうな中・高生。やはり、変わらず、いい学校だなあ…と、誇らしく感じ、これまでこの学校を愛し支えてくださったすべての方々への感謝の念が沸き起ってきます。

30 年前、一つの住宅地の多目的ホールをお借りしてこの学校は始まりました。シスター4 人、フィリピン人の先生が 2 人、そして 21 人の幼稚園児という小さな学校が 1994 年 6 月にひっそりと誕生しました。屋根と柱だけのホールでしたから、棚で仕切りをして教室を二つ作りましたが、雨風がひどいときは子供たちが濡れないように教室の真ん中に机を寄せて授業をしました。嵐や台風の後には、早く出勤し、倒れた棚を起こし、水浸しの床を拭いて子供たちを迎えるという形でした。どれも懐かしい思い出です。

次の年に、現在の場所に引っ越しをして生徒は小学 1 年生までの 90 人となり、毎年 1 学年ずつ増やし、170 人、300 人、450 人、600 人と生徒数は年々増えていきました。それに伴い、校舎が建設されて行きました。最初の 2 つの校舎と体育館の建設は修道会の全面的な援助がありました。しかし、更に中学校の教室、各種特別教室、事務室などを建てる必要がありました。生徒たちから徴収する授業料ではとても賄うことはできません。そんな時、故溝部司教様のアドバイスがあり、「カリタス友の会」を発足する運びとなりました。おかげで校舎建設を続けることができ、数年後には 1000 人を超える大所帯となりました。

昨年創立 30 周年を迎え、新たな一步を踏み出した今、私たちが日本から応援してくださるカリタス友の会の皆様に、心からの感謝の意を表すると共に、この学校の成長を共に喜んで頂きたいです。今や、多くの卒業生を世に送り出して、立派な社会人として活躍する姿を目にすることができるようになりました。やんちゃだった子供たちが親になり、保護者として戻ってきました。数名は先生として働いてくれています。校医と歯科医、そして顧問弁護士も卒業生です。毎年、卒業式に社会で活躍している卒業生を呼んで講演をしてもらっていますが、そのたびに感激します。そこで、去る 4 月 3 日に行われた小学校の卒業式でのスピーチを紹介させていただきます。つたない私たちが道具として、神様がどれほど偉大なわざを行ってくださったかを垣間見ることができると思います。決して順風満帆とは言えませんが、海の星のマリア様がこの学校を導いて下さいますので、カリタス・ドンボスコスクールはこれからも、創立者カヴオリ神父様の夢を追って、更に前進してまいります。これからも応援をよろしくお願いいたします。フィリピンより感謝をこめて！

シスターテレジア古木涼子



1994 年 6 月 21 名で始まったカリタス・ドンボスコスクール



卒業生たち



フアン・イスマエル・ガルロと Sr. 古木



カリタス・ドンボスコスクール初等科卒業式記念講演

Juan Ismael Aala Vallejo

(第4期卒業生。2004年初等科卒業、2008年高等科卒業生)

皆さん、おはようございます！ 創立30周年の記念すべき時に卒業する第25期卒業生の皆さん、おめでとうございます！

今日は特別な日です。祝いの日であり、過去を振り返る日であり、未来への希望の日です。みなさんが歩んできた旅について考える日です。そして、それはなんという素晴らしい旅だったことでしょう！

私の個人的な旅を皆さんと分かち合えることを光栄に思います。今日、皆さんの前に立っている私は、単なるゲストスピーカーではなく、皆さんの中の一人だと思っています。

20年以上前、同じ体育館で行われた第4回卒業式に卒業生の一人として参加しました。その後、多くのことが変わりましたが、私にはいつも何も変わっていないように感じられます。この学校は私が素晴らしい12年間を過ごした、私の第二のふるさとだからです。

私たち家族とサレジオ会とのつながりは深く、私の祖父と両親はサレジオ会関係の学校の卒業生です。家族の中で私が初めてCDBS（カリタス・ドンボスコスクール）に通いましたが、それから妹たち、甥っ子も後に続き、17人がボスコニアンとなり、私たち家族の遺産を受け継いできました。この学校は、私の家族にとって単なる教育機関以上のものであり、価値観、信仰、そして生涯の友情を築く場所、家庭でした。

私はCDBSでの日々を懐かしく思い出します。先生たちは単なる教育者ではなく、やんちゃな私たちの問題に対処しながら、私たちが常に何かを学ぶように手助けしてくれた、控えめなスーパーヒーローでした。

生涯の友となったクラスメートたちのことも思い出します。週に一度の課外授業や、毎年開催されるボスコオリンピックに向けてのサッカーの練習、学校祭でのフィールドデモの練習も忘れられない思い出です。

同じカリタス・ボスコニアンとして、皆さんがここでどのように過ごしたか容易に想像できます。学期ごとの試験のために猛勉強し、プロジェクトの提出期限を守るために必死だった日々を思い出しますが、みなさんもそうだったでしょう？

困難な瞬間を覚えていますか？ 苦勞したとき、あきらめそうになったとき。しかし、あなたは決してあきらめなかった！

あなたの背中を押してくれたサポートや励ましを思い出してください。今のあなたを見てください！ あなたはやり遂げた！ 知識も自信も優しさも増しながら成長した。そして今、あなたは更に前進しようとしている。

私は、あなたが今座っている場所に座っていた時のことを覚えています。好奇心旺盛で、次に何が起こるかワクワクしたり緊張したりしていました。

小学6年生の時、よく、「大きくなったら何になりたい？」と聞かれて、答えに困った経験がありますが、皆さんも同じではないですか？

でも、振り返ってみると、CDBSが私のキャリアだけでなく、人生そのものをどれだけ準備してくれたかがわかります。ここで学んだことは教室の中だけにとどまることなく、私の一部となったのです。

そして今日、皆さんの前に兄として立っている私は、ここで身につけた価値観が今の私を形作っていると胸を張って言うことができます。

CDBSは学問を収めるだけでなく、心を形作ってくれる場所です。

ドン・ボスコの言葉を借りれば、「教育は心の問題である。」ということです。ここでの教育とは、成績や教科書のことだけではないのです。

その過程で学ぶ価値観のことです。皆さんは知識を得るだけでなく、「愛を生き、献身的に奉仕する者」へと形成されたのです。

カリタス・ボスコニアンとして、私たちは“I love, therefore, I serve”「我愛す、故に我奉仕す」というモットーに従って生きています。

本物の愛は、言葉や感情だけでなく、他者への奉仕や配慮の行動を通して表現されます。

今年のテーマ“Shaping Bosconians as Pillars of Love and Service”（愛の柱、奉仕の柱としてのボスコニアンを形成する）は、カリタス・ドンボスコスクールで皆さんが歩んできた道のりを見事に反映しています。愛の柱。奉仕の柱。

この卒業式のスピーチを準備していたとき、私と同じ建築設計士でもある私の友人が、このテーマを私たちの建築家という職業に関連づけることを提案してくれました。

設計士として、私たちはあらゆる人が必要とする建物を設計します。柱は建築物にとって非常に重要な部分です。

建築家が建物の柱がその構造を支えるために適切な位置にあることを保証するように、卒業生である君たちも、愛と奉仕の柱で世界を支える立場に置かれているのです。

現代、私たちは素晴らしい建造物を目にします。しかし、そんな建物も柱が弱ければ、一瞬で壊れてしまいます。

カリタス・ドンボスコスクールは、私たちがしっかりと立つことができるように育ててくれました。私たちは、二本の強い柱、愛の柱と奉仕の柱によって立つことができます。

カリタス・ドンボスコスクールは、愛と奉仕という二つの柱を支えるために、生徒に6つの核となる価値観（SORISE）を備えるように教えています。

まず、CDBSで私たちはSimplicity「単純さ」を学びました。愛と奉仕は謙虚さと誠実さの中で最もよく表現されます。過剰な欲望や利己的な欲望から解放されたシンプルな生活は、物質主義に陥らずに心を込めて奉仕し、愛することを可能にします。シンプルさとは、少ないものを持つことではありません。私たちはすでに十二分なものを持っていることを知ることなのです。

CDBSではObedience「従順」を学びました。真の愛と奉仕には、大いなる善に耳を傾け、従い、服従する意志が必要です。まず従うことを知らなければ、サーバント・リーダーにはなれません。従者こそがリーダーになれるのです。愛をもって従順を実践することで、私たちはより大きな責任を果たすための準備をすることができるのです。

CDBSではRespect「尊敬」を学びました。愛と奉仕は尊敬し合う環境の中で花開きます。尊敬は丁寧な言葉を使うことにとどまりません。尊敬とは、先生の言葉に耳を傾け、クラスメートに親切にし、異文化に感謝することです。敬意を持って接することは、愛を持って接することです。尊敬とは、人、自然、そして私たちを取り巻く世界を大切にすることだと学びました。

CDBSではIntegrity「誠実さ」を学びました。本物の奉仕と愛は、誠実さと強い道德観に根ざしています。誠実であること。私たちは、都合の良いときだけでなく、いつでも、誰も見ていないときでも、常に愛をもって奉仕します。私たちは誠実な市民、良き信徒になるよう努力します。私たちは、報酬を期待したり、利己的な動機からではなく、誠意をもって人に仕えます。

CDBSではSelf-Sacrifice「自己犠牲」を学びました。愛と奉仕の本質は、他者のために自分を捧げることです。日々の小さな行為であれ、大きな行為であれ、愛と奉仕にはしばしば、自分のことよりも他人の必要を優先することが必要です。

自己犠牲について考えるとき、私はいつも両親のことを思い出します。両親は、私たちがここで教育を受けられるように、仕事を増やしました。父は休みの日に仕事の依頼を受け、母は食品から百科事典に至るまであらゆるものを売りながらお金を稼ぎました。

彼らの犠牲は、愛と奉仕が手を取り合うものであることを思い出させてくれます。私たちがここにいるのは、周囲の人々の愛の行為のおかげなのです。

CDBSで私たちはExcellence「卓越性」を学びました。愛をもって奉仕するということは、自分の最善を尽くすということです。ドン・ボスコの言葉で、私の心に強く響いたものがあります。：“Do your ordinary duties, extraordinarily well.” 「(特別なことではなく) 普通のことを、特別に良く果たすようにしなさい」。

卓越性とは、並外れたことを成し遂げることではありません。そうではなく、並外れた愛をもって普通のことをすることなのです。

学校であらゆる公式を学んだり、数え切れないほどのページを暗記したりしても、単純さ、従順、尊敬、誠実さ、自己犠牲、そして卓越性を実践しなければ、その知識は大した結果を生まないでしょう。

学校の6つの価値観は、私たちに責任感があり、思いやりがあり、行動力のある、愛と奉仕の精神に生きる人間に形成します。ここで学んだことを、私たちは世界と分かち合うのです。

しかし、構造を維持するためには、強い柱があるだけでは不十分です。強固な土台が必要です。そして、それは神です。

最初に愛してくださった方。最初に仕えてくださった方。

私たちの主が私たちの確かな土台であるならば、私たちは恐れることはありません。嵐が来ても、揺らぐことはないのです。主の御手によって、私たちは救われるのですから。

卒業は終わりではなく、新たな冒険の始まりです。

ビデオゲームのレベルⅠが完了し、次のレベルに進むような感じでしょうか。

様々な理由で別の学校に移る人もいるでしょうが、ここでの大切な教訓と思い出を決して忘れないでほしい。

”一度ボスコニアンになったら、ずっとボスコニアン ”という言い伝えがあります。皆さんは私たちと一緒にのカリタスボスコニアンです。

高校生活では、新たな挑戦とチャンスが待っています。高校生活はあなたの忍耐力、エネルギー、そして時には4時間の睡眠でやっていく能力を試します。

探求すべき新しい科目、出会うべき新しい友人、受け入れるべき新しい試練が待っています。

個人的には、人生で最高の時期だったと思っています。高校は超真面目なところだと思っていたのですが、実は最も忘れがたい瞬間を経験したところでもありました。元生徒として、ここで学んだ価値観は必ず役に立つと断言できます。では最後に、感謝の気持ちを伝えましょう。

私たちを導き、鼓舞してくださった先生方、スタッフの皆様、忍耐と献身に感謝します。

この学校に感謝します。私たちはこの学校に感謝しています。

私たちを支えてくださった保護者の皆様、愛情と励ましをありがとうございました。

そして最後になりましたが、卒業生の皆さん、本当に良く頑張りました。皆さんのおかげで、私たちは今日、この特別な瞬間を共に祝うことができました。

皆さんは単なる学生ではありません。皆さんはカリタス・ボスコニアン（愛と奉仕の柱）なのです。

人生の行く先がどこであれ、愛があなたの行動を導き、奉仕があなたの目的を明確にします。

学業、スポーツ、リーダーシップ、人生全般に関わらず、ここで築いた土台は、賢明な決断を下し、困難を乗り越え、夢を実現するための指針となるでしょう。

SORISE の価値観を持ち続けることで、変化を起こし続けることができるのです。

このことを忘れないでください。大きな夢を持ち、懸命に働き、神を信じ続けること。

私たちは確かな土台に立っていることを忘れないでください。

試練は訪れるかもしれませんが、あなたは強く、有能で、それを乗り越える準備ができています。

好奇心を持ち、親切にし、恐れなくてください。自分を信じてください。私たちは皆、あなたを信じているのですから。

あなたたち一人ひとりが夢を現実に変えていくのを、兄として楽しみにしています。

あなたたちは未来であり、世界を変えることができます。

愛を持って生き、情熱を持って奉仕し、そして常に “I love, therefore, I serve” という言葉を忘れないでください。

カリタス・ドンボスコスクールの 2025 年卒業生の皆さん、おめでとうございます！

これは素晴らしい旅の始まりに過ぎません。皆さんが世界をより良い場所にしてくださることを祈ります。



1994 年 最初の聖母行列



1994 年 借り教室の様子



2025 年 小学校卒業式



海の星の聖母聖堂で職員たちと

ボリビア



オガールファティマ乳児院

申請額 子ども達の食糧・おやつ 7,575 ドル 職員給与 2 名分年間 8,640 ドル
対象職員 Sra.Leidi Canceco Sanchez Sra.Eldy Fernandez Aguilera 乳児室勤務保育士
この申請は承認され、全額（240 万円）の支援を頂きましたことをご報告申し上げます。

イエスのカリタス友の会の皆様

お元気でお過ごしでしょうか。この希望の聖年を恵
と喜び、平和のうちにお過ごしのことと思います。

友の会の皆様のご寛大なご配慮によりオガールファ
ティマ乳児院のためにご支援いただき、感謝申し上げ
ます。

現在 33 名の子ども達が賑やかに過ごしています。
その中でナタン君は脳の手術を受け、退院後は経過も
良く抗痙攣剤を服用しながら通院しています。右側に
軽度の麻痺が続き、1 歳 10 か月の発達水準には及び
ませんが、可愛い笑顔で体を動かしよく食べ愛嬌を振
りまっています。専門的なケアと環境が整っている施
設へ移動できるように手続きを始めています。

日本経済の低迷・物価高騰でイエスのカリタス友の
会の活動・経済的に難しさがある中、寛大にも食費と
おやつ、職員 2 名の給与の支援 16,215 ドルをご寄付
下さり、心から感謝しております。皆様のお一人おひ
とりのご奉仕、ご苦勞と愛が集まり大きな成果を生み
出し、ボリビアの子ども達の生きる力、希望になっ
ています。「命を守りたい」「生きたい、愛されたい」と
いう思いが繋がっているのだと思います。微力な私た
ちをこれからもご支援くださいますようお願いいた
します。オガールファティマ乳児院一同、皆様の上に
神様の豊かな祝福が注がれますようにお祈り申し上
げます。ファティマの聖母の祝福とご保護を願いなが
ら。オガールファティマ乳児院 施設長シスター立石



入院中のナタン君



おやつの様子



赤ちゃんプレールームの様子



日系人ご夫婦からかぼちゃ・グレープフルーツの寄付

ペルー



アントニオ・カヴォリ学園 申請額

パソコン 5 台分購入支援 1,800 ドル 経済的苦境・学習障害児を持つ家庭への奨学金 2643.04 ドル
この申請は承認され、全額（674,000 円）の支援を頂きましたことをご報告申し上げます。

イエスのカリタス友の会の皆様

いかがお過ごしでしょうか。いつも私たちのために温かいご支援やお祈り、励ましのお言葉を頂きまして心より感謝申し上げます。

今回、カリタス友の会からのご支援で5台のパソコンと現地でのイベント（教職員と保護者で軽食を販売）による収益で5台のパソコンを購入し、10台を新しく設置することができました。それまで生徒たちは1台のパソコンの前に椅子を並べて画面を見ていたので、この

新しいパソコン導入によってより多くの生徒たちがパソコンに直接触れて学ぶことが出来るようになりました。生徒たちにとっても教職員にとっても非常に喜ばしくありがたい事となりました。

友の会の皆様のご支援によってパソコンを購入できましたことを心より感謝申し上げます。

友の会の皆様のために心より感謝をこめて、聖母マリア様の取り次ぎを願い、お祈りさせていただきます。

アントニオ・カヴォリ学園 シスター林 恵



バザーのためのポヤード作り



パソコン搬入の様子



パソコン設置



パソコン設置後の様子

南スーダン



友の会の皆様

皆様お元気でいらっしゃいますか。

南スーダンのためにいつもお祈り、ご支援くださいますことを心より感謝いたします。

南スーダンは2024年12月に予定されていた、大統領選挙が引き延ばされてしまい、反乱が起きている。故フランシスコ教皇様も亡くなる数日前、大統領に手紙を書きましたが、耳を傾ける気配はありません。南スーダンについての情報は日本ではおそらく何も報道されず皆無に近い状況だと思います。

私たちが住む地域は首都ジュバに近いこともあり、国連の力が大きいので小さな銃撃戦はあるものの、今はまだ危険にはさらされてはいません。私たちの敷地内には2013年、2016年の内戦で避難してきた国内難民が8,000人近くテント生活をしています。このような中で皆様からの支援金は、私たちの事業のカリタス子どもセンター、カリタスドンボスコ診療所、農業のために充てており、主に子どもセンターの給食に使用しています。子ども達は137名で、週5日センターに通い給食を食べて帰ります。

しかし物価高騰のためミルクは飲めず、3回は豆とトウモロコシの粉で作るご飯、2回はビスケット5枚とお茶を提供しています。しかし、イエスのみ心のお祝いに1度だけミルクを提供できました。初めて提供されたコップ1杯ずつのミルクに子ども達は大喜びでした。彼らはビスケットに少しのミルクを付け、大事に時間をかけて食べていました。

こちらで収入を得るために、農業をしていますが半年は乾季、しかも雨季に雨が降りません。井戸水を作物に使うと井戸が枯れて飲み水が供給できなくなるので、雨だけが頼りです。それでも収穫できた野菜、果物で、子どもの達の給食、スタッフ、貧しい数家族への支援は出来るようになりました。これも皆様からの支援で種を購入する事が出来たからです。本当にありがとうございます。子ども達と感謝のお祈り、修道院では月1回感謝のミサを、支援者の皆様のために捧げさせていただいています。続けて私たちのためにもお祈りをお願い致します。感謝のうちに。

ジュバ共同体 シスター下崎



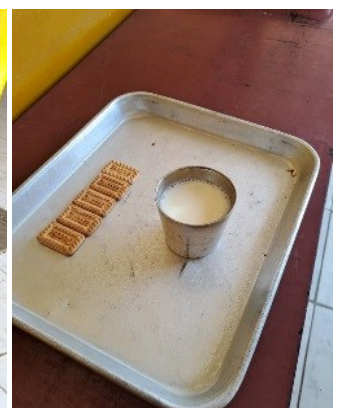
給食になる野菜の収穫



5枚のビスケットと今年初めてのミルクに大喜び！



診療所での様子←



イエスのカリタス友の会の皆様
いかがお過ごしでしょうか。

ベトナムより近況報告とお礼を申し上げます。

皆様からご支援いただいていますジャンラム共同体の「Anh Duong 幼稚園」は2024年9月5日に第1回入園式を行ない、日々子ども達の幼児教育を行なってきました。入園当初は、登園してきては毎日泣いてばかりで、椅子にきちんと座ることもできなかった子ども達ですが、今ではすっかり園生活にも慣れ、登園後も笑顔が見られ、自分たちでブロック遊びもできるようになりました。

この度5月23日に初めての修了式を無事に迎えることができました。当日は、保護者の方々を迎えて、日頃の保育で練習してきたダンスを披露したり、歌を歌ったりして1年間の成長の証しを保護者の方々にお見せすることができました。

子ども達が毎日、安全に楽しく園生活を送ることが

ベトナム



できたのも、イエスのカリタス友の会の皆様のご支援を頂いて、教材の購入や中庭の屋根を設置させていただき外的環境を整えていただいたお陰です。本当にありがとうございました。

新たな歩みを始めた私たちですが、これからも地域の方々の必要に応じて、より良い保育を行なうよう努力を続けていきたいと思っています。イエスのカリタス友の会の皆様には、これからも私たちの活動を支え、導き、助けていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。私たちも、イエスのカリタス友の会の皆様のために感謝のお祈りをお捧げいたします。

ベトナム共同体代表 シスター山田睦美

ジャンラム共同体代表 シスターグエン ティ ラン



ダンスの発表



中庭での様子



修了式保護者の方々と



修了式後保護者の方々と

ブラジル



支援申請

エスコラ・カリタス（サン・マテウス カリタス学園）

申請額 2025 年度奨学金 21 名分 年間児授業料の 30%～70% 25,157.09 ドル 3,670,866 円

友の会の皆様

私たちの学校「エスコラ・カリタス」での社会・教育活動の 27 年間を振り返ってみますと、多くの生徒たちが学校と善意ある方々のご支援によって、良き社会人として仕事に従事し、社会に貢献できるまで成長している姿に、長年ご支援を続けてくださる友の会の皆様のお力添えであると有難く思い、心より感謝申し上げます。

経済面で辺境にある人々の中には、必要な生活費すらままならない、とても惨めな状態にある家庭が未だ多くいます。それでも彼らは希望を失わない人々です。ダニエル君はその一人です。彼については 45 号でご報告させていただきました。

他にも私たちの学校には深刻なケースがあります。一つは、家庭問題で父親が離婚に納得せず生徒の母親を刺した事件がありました。父親は刑務所に収容され、母親は手術で一命を取り止めましたが回復中で働けない状態です。他にも様々なケースがあり、社会保障の給付も受けられていない家庭もあります。

私たちの活動を信じてくれる家庭に希望を届けるために、これからも皆様のご支援を続けてお願い申し上げます。

皆様のご理解あるご支援に感謝をこめて、神様が豊かで寛大な祝福で満たしてくださいますように、お祈り申し上げます。

校長 シスターベルナデッテ中川

ルール・サント・アントニオ養護施設・ユースセンター

申請額 食糧支援 258,000 円・施設の雨漏り修理、壁の塗装 2,000,000 円（指定献金）

この申請は承認され、支援者から指定された献金 200 万円を含めて、全額の支援を頂きましたことをご報告申し上げます。

友の会の皆様いかがお過ごしでしょうか。

先日、食糧支援をしていただけると報告を受け、皆様の寛大なご支援に心から感謝申し上げます。

ルール・サントアントニオ養護施設は 40 年以上、子ども達の施設としてサンパウロや地域の子ども達、貧しい家庭を支援しています。事業を継続していくためには、建物の維持管理が必要です。例えば、子ども達や職員が使っているスポーツコート、教室、職員の部

屋には雨漏りがあり、壁の隙間や窓からコウモリや鳩が入りコートを汚し衛生的ではなく、屋根や壁の修理が必要になりました。全域に修理すべきところがありますが、範囲が広く経済的にも考えなくてはならないので、業者の方と話し合いながら進めています。

皆様のご支援、ご協力に心から感謝し、新しい教皇様を中心に教会が一致し、世界平和のため、最も貧しい人々のために奉仕し、助け合っていくことが出来ますように。

施設長 シスターマリア黒崎



スポーツコートの鳩の糞の痕



教室の雨漏り



ルールサントアントニオの子ども達

イエスのカリタス友の会 会計報告

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

《収入の部》

(単位：円)

科目	金額	備考
寄付金収入	7,102,060	
一般からの寄付金	6,129,410	使用済み切手からの収益も含む
CD による寄付金	972,650	
その他の収入	1,242,202	
バザーによる収入	1,029,930	
雑収入	212,272	書き損じ葉書・EM 石けん
当期収入合計	8,344,262	
前期 繰越金	1,352,507	
収入の部合計	9,696,769	

《支出の部》

(単位：円)

科目	金額	備考
宣教活動支援費	8,094,000	
イエスのカリタス会 日本管区 (ベトナム)	920,000	Anh Duong 幼稚園中庭屋根設置
イエスのカリタス会 ブラジル	3,000,000	サンマテウス学園奨学金 22 名分 (年間分)
イエスのカリタス会 ボリビア	2,500,000	オガールファティマ乳児院 職員給与(2 名分)・食糧、おやつ支援 2,400,000 指定献金 100,000
イエスのエスのカリタス会 ペルー	674,000	アントニオ・ガリ学園パソコン購入・奨学金支援
イエスのカリタス会 南スーダン	1,000,000	チルドレンセンター食糧支援 660,000 指定献金 340,000
運営費支出	86,957	
友の会便りの印刷	51,000	イエスのカリタス友の会だより 2 回分
通信費	35,957	友の会だより送料 1 回分 (1 回分は寄付の切手利用)、レターパック代
消耗品費	0	
手数料	0	
当期支出合計	8,180,957	
次期 繰越金	1,515,812	
支出の部合計	9,696,769	

*指定献金は支援者が寄付先を指定したものです。

活動報告 ・ 切手整理



沢山の方々に使用済み切手をお送り頂き、有志の方々に切手整理を行うことができました。皆様からのお気持ちが支援金として届けられることを心より感謝申し上げます。

日本切手	35.7 kg	28,588 円
外国切手	1.94 kg	3,890 円
外国コイン	4.45 kg	5,340 円
合計		37,818 円



使用済み切手・未使用切手・書き損じはがき・外国コイン紙幣支援者

2024 年 12 月 1 日～2025 年 6 月 10 日（敬省略・順不同）

石井 多香子	村橋 美咲	丸谷 晴康	池田 寿美子	デ イアロ 亜紀	中谷 淳子
広田 三枝子	中嶋 みちる	赤尾 敦子	立松 美也子	吉 一男・英子	嶺 英樹・杏奈
武井 ちね子	別府 和子	緒方 みゆき	出口 登代美	杉山 憲次・尚子	ときわ荘
岡野 憲一	末武 恭江	曾我 千瑳子	三輪 峰子	椎原 伊三男・園美	
宮脇 裕美	石井 房江	山縣 久美子	武村 奈緒子	梅津 尚志・久仁子	
長崎 洋子	斎藤 禎子	吉田 有美	阿部 芙美子	カトリック上尾教会	
松本 保子	河野 由美	林 ヤヨイ	谷川 京子	サレジオ小学校 宮野 春野	
鈴木 裕子	中村 廣志	田川 佐衣子	椎橋 玲子	都城聖ドミニコ学院高等学校インターアクト	
渋谷 琢磨	山本 啓子	佐藤 操子	堀 元子	横須賀中央ライオンズクラブ	
秋月 美映子	坂原 瑞穂	坂原 瑞穂	三宅 映子	小田原松風ライオンズクラブ	
藤原 康子	片山 久美子	梶沢 敦子	三宅 夏音	横浜ひかりライオンズクラブ	
佐伯 千寿子	曾根田 秀子	岩田 貴子	菊池 美華	高橋宅建一級建築土木事務所	
森 真紀子	薬真寺 真理枝	小柴 万侑	司馬 三起子	株式会社アドブレイン 平井	
黒飛 和子	林田 令子	濱田 裕子	田中 耕二	カトリック・カリタス幼稚園	
酒井 健一	出口 登代美	町田 房子		介護老人保健施設千の風	
亀川修道院	愛野修道院	松本修道院	甲府修道院	潜竜聖母幼稚園	親愛園
名瀬修道院	管区本部修道院	青梅修道院	宮崎修学志願院	都城修道院	三原修道院

活動報告 ・ バザー

6 月 1 日に管区本部修道院でバザーを行なうことができました。多くの方々にご来場いただき、ご協力頂きましたことを、心より感謝申し上げます。沢山の出会いがあり、楽しいひと時を持つことができました。ありがとうございました。尚、管区本部修道院建て替え工事に伴いまして、2027 年まではバザーを行う事ができません。また再開の折には皆様のご協力を頂けましたら幸いです。



バザー協力者

2024年12月1日～2025年6月10日（敬省略・順不同）

坂本 順子	佐藤 七津美	大森 もと子	岩田 貴子	田垣 裕子	岩田 宏之	大八木寿美子
石津 尚子	中村 睦子	橋本 節子	岩田 純子	池田 寿美子	岩田 隆誠	末武 恭江
久保 泰介	長谷 由香子	加藤 久美子	中村 廣志	谷川 京子	後藤 緑	伊藤 紀子
秋元 紀子	浦田 幸子	脇 サエ子	小川 寛子	藤原 康子	飯田 昌子	武井 ちね子
中島 久子	木村 正子	濱田 裕子	石井 房枝	中村 幸子	町田 房子	木村 喜美子
石井 多香子	佐藤 七津美	山縣 久美子	和田 貴子	大平 智子	菊池 美華	堀 清子
則武 伸子	三宅 映子	松本 保子	広田 三枝子	丹崎 圭子	羽田野 徳子	中田 澄江
中野 敦子	三宅 夏音	藤本 三美	堀 元子	内田 策子	管区本部修道院	

寄付支援者

2024年12月1日～2025年6月24日（敬省略・順不同）

佐藤 安英	小林 千佳子	村田 洋子	大賀 由美子	青木 薫	小林 一	赤澤 進
鳴海 京子	佐藤 朝子	犬島 浩一	赤尾 敦子	長井 泉	岩井 理	後藤 緑
原 恵美子	片山 久美子	橋本 晴子	緒方 みゆき	柿沼 志津子	八木下 泰博	
藤原 康子	松山 篤則	大谷 ゆか	中村 廣志	平柳 由紀子	谷口 ひろこ	
倉田 昌子	松本 尚也	坂原 瑞穂	谷川 京子	矢野 勉	堀田 修平	
出口 登代美	中村 妙子	町田 房子	鈴木 裕子	村上 しづ子	田代 展子	
加納 和寛	大瀬良 正人	福田 桂子	七澤 順一	門間 幸枝	常清 操子	
石津 尚子	笠間 恵美子	武上 幸枝	山縣 久美子	鈴木 里沙	神保 朱美	
蓮井 直樹	摂津 順子	本田 京子	加々美 佳子	山田 幸子	白石 周子	
池田 寿美子	吉田 博	藤井 康子	大野 正樹	洞口 優子	町田 房子	
三輪 峰子	古森 郁代	久高 和子	高平 淑子	藤嶋 史子	本村 哲也・久代	
明石 嘉浩	唐木 武志	真島 顕子	清弘 剛生	西野成葉・章子	長 真琴・純子	
井上 進二	宮澤 伸子	横関 裕美	内田 健志	中島 修・恵	中島 恭子・晶子	
吉雄 直子	仲田 敏子	小松 多佳子	中村 清子	西山 浩・クニ子	豊島 究・あんづ	
阿南 ゆかり	仲村 トミ子	堀 元子	山縣 隆雄	高田玲依・晃太郎	山邊裕一・加美恵	
関口 英子	鳥居 孝一	吉田 有美	溝井 光子	葛島忠男・よね子	杉山 憲次・尚子	
菊池 茂樹	菊池 美幸	小西 由美子	宮島 智美	横浜雙葉小学校	ザビエル書院	
船木 靖子	河野 正彦	増田 百合	城 麗子	カトリック富士教会	井荻聖母幼稚園	
鍋内 初恵	柳田 みどり	中村 従子	佐藤 晴一	カトリック松本教会	花田口聖母幼稚園	
徳矢 貢一	里 美千代	森岡 多恵子	矢野 順市	カトリック調布教会	カトリック目黒教会	
山口 朱美	藤井 桂子	曾根田 秀子	森 真紀子	Wojciech DABROWSKI (Fr. Adalbert)		
八島 厚子	石黒 智泰	鈴木 裕子	坂原 瑞穂	Anna Maria STEINS		
武藤 浩子	浜崎 てるみ	松本 保子	岩田 貴子	都城聖ドミニコ学園幼稚園		
杉山 百代	迫田 伸子	吉野 鉄哉	大河内 典子	カトリック・カリタス幼稚園		
川島 弘史	山下 越子	曾我 千瑳子	近藤 幸恵	金沢独立キリスト教会		
櫻田 華純	石井 多香子	森 一	須田 恵子	カトリック大森教会聖歌隊		
牧田 みどり	久高 和子	枝 孝子	吉川 寛幸	カトリック聖クララ幼稚園		
広田 三枝子	武井 ちね子	河野 秋子	田垣 裕子	カトリック文化センター		
松永 靖子	梅村 百合子	小池 隆介	酒井 美千代	カトリック横須賀大津教会		
蓑田 純子	国吉 光	松本 はな	オリーブ会（下井草教会）	カトリック富士教会		

匿名希望の方々も含め、多くの方々にご支援、ご協力を賜りました。心より感謝申し上げます。

どうもありがとうございました。

入会者（敬称略）

菊池美華・石津尚子・町田房子・山縣隆雄

藤井桂子・木村仁美・安田美智代

毎月10日には、イエスのカリタス友の会の会員のためのごミサ（お祈り）が、イエスのカリタス修道女会管区本部修道院聖堂において捧げられています。

どうぞ心を合わせてお祈りください。

入会ご案内

イエスのカリタス友の会は、イエスのカリタス修道女会が行う活動を、財政的に支援する事を目的とするボランティアグループです。

会員の活動

任意の時期に、任意の金額を友の会に寄付します。（入会費・年会費はありません）
可能であれば、バザー、使用済み切手の収集・整理、その他の活動に参加、協力します。

個人情報について

入会時に受け付けた個人情報、友の会事務局にて慎重に管理されます。同会会員に対しても公開は控えさせていただいておりますので、ご了承ください。尚、ご寄付・バザーの物品提供・使用済み切手の収集等にご協力いただいた際には、次回発行される「イエスのカリタス友の会だより」にお名前のみ掲載させていただいております。匿名希望の方は、その旨をお知らせください。

会員の資格

5 年以上連絡がない場合、会員の資格は消失いたしますのでご了承ください。

入会について

入会ご希望の方は、住所・氏名（ふりがな）・電話番号を TEL ・FAX・メールのいずれかの方法で事務局にお知らせください。入会希望を受けて、「イエスのカリタス友の会の規約」をお送りいたします。

友の会会員のために

毎月10日にミサを捧げ、ご支援くださる方への感謝と報告を兼ねて、年2回「イエスのカリタス友の会だより」をお送りしています。

イエスのカリタス友の会の趣旨をご理解くださり、
賛同してくださる方は事務局までご連絡ください。
(最終ページにあります)

お知らせ

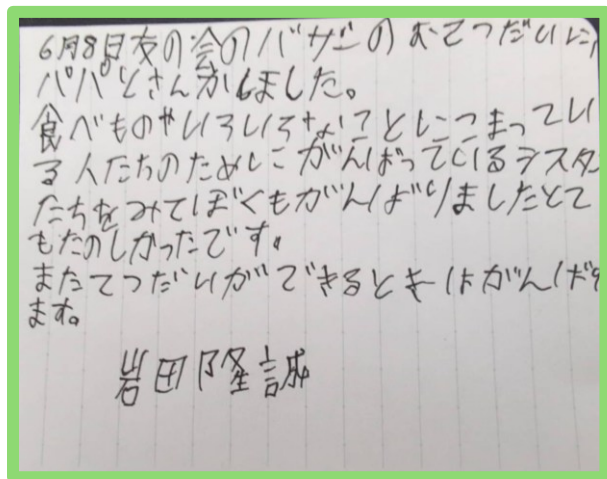
イエスのカリタス友の会事務局長として永年、愛
のご奉仕をしてくださいました、片山久美子さんが
2025 年 3 月を持ちまして退任されました。これから



も様々な場面でのご活躍とご健康を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。



かわいいー言



(バザーのお手伝い最年少)

事務局からの声

聖年の扉が開かれて半年がすぎました。所属する教区が指定した教会のホームページを開いて地図を開いて教会を訪問させていただきました。

聖堂の扉を開けたときお祈りをなさっている人がおられる時もあれば、どなたもおられないときもありますが、いつも温かく迎えられている気がいたします。静かな聖堂で祈れますことの幸せを感じます。

夏の間は一休みさせていただいて、秋になりましたならまた訪問を続けたいと思います。(Y.F.)

聖年を迎え、どのように過ごそうか考えてみました。その答えは人によって異なると思います。私の場合、年々衰えていく判断力、体力、外見。諦めるのではなく喜んで受け入れ、時にはちょっと抵抗しながらも他者、若者に助けていただく事に心から感謝し、そしてそれをお伝えするように努力したいと思います。

私たちの尊敬する前フランシスコ教皇様は沢山の言葉を残して旅立たれました。「この世で本当に『私の者』と呼べる物は一つもありません。全ては雲のように一時的に留まるだけの存在です。やらなければならないことがあるなら先延ばしにせず今日、今すぐに行いましょう。あなたの前にいる人に全ての心を注いで下さい。」教皇様の最後のお言葉。何度も何度も心に刻みます。教皇様ありがとうございました。ご冥福をお祈りいたします。(K.Y.)

墨田の花火という鉢植えの紫陽花を母の日にお嫁さんが届けてくれた。土に下ろしたらどんどん成長。

私の背丈どころではなく手が届かなくなった。修道院の建て替えて、今までは何も感じることなく思っていた聖堂や管区本部が新たに生まれ変わることの嬉しさと寂しさが入り混じるこの頃。聖堂では数えきれない方々が祈られたことでしょう。聖霊の助けを願いつつ、完成した修道院に訪れることができますようにと祈りながら、シスター方の上に限りないお恵みをお与えくださいますように。(T.I)

友の会員の皆様、そしていつも友の会をご支援くださいます皆様に改めまして感謝を申し上げます。

6月始めに、友の会主催の恒例のバザーが開かれました。その様子をほんの一部ご紹介させて頂きたいと思います。海外の宣教地で活躍されるシスター方のご苦勞を思い、少しでも要望を叶えられればと、このバザーも支援の一部となります。会場は修道院の講堂を提供して頂きました。バザーは友の会コーディネイターのシスターのお祈りで始まりました。バザーではケーキ、クッキー、あんぱん、ピクルス、野菜、卵、サブレ等ご好意の品物がテーブルに並びますが、短時間で無くなってしまいます。その他、衣類、食器、雑貨も賑わい、大勢の方がお求め下さいました。また、シスター手作りのEM石鹼は安全性が高く、お安いのでファンが多く人気の商品です。この日も無事に終えることができました。最後に若いノビスやシスター方が、アツという間に片付けとモップ掛けをしてくださいました。神に感謝。(Y.M.)

イエスのカリタス修道女会のホームページからスモールクワイアのお知らせ、CDのお申込み方法など載せていますので、ぜひ、ご利用ください。

イエスのカリタス修道女会ホームページ

<http://www.m-caritas.jp>

寄付金受け入れ口座

加入者名 イエスのカリタス友の会
郵便振替口座 00160-2-564970
他金融機関からの振込用口座番号
〇一九店(019) 当座 0564970

発行 イエスのカリタス友の会

〒167-0021 東京都杉並区井草4丁目20-5
TEL:03-3396-2171 FAX:03-3396-2150
e-mail: tomonokai@m-caritas.jp

代表 山縣久美子